

**2014年4月下旬発売予定 注文締切 / 2014年4月10日**

# 関西電力と原発

[判型] 四六版 350p [本体] 1500円(予定) [著者] うずみ火編集部 矢野 宏 高橋 宏 [座談会特別ゲスト] 山本浩之  
ISBN978-4-901908-86-3

黒田軍団の遺志を継ぐジャーナリスト集団うずみ火が挑んだ、関西電力と原発の現在過去未来。

3.11以降堰を切ったように発行された原発本と東電本。

あまり語られない地方原発。では、関西はどうなっているのか、若狭に日本一の原発密集地を持ち、そこから30キロ圏内に水産「琵琶湖」を持つ我々の未来は。

## あぶない原発ワースト10のうち 関西電力原発が8機

2012年9月自民党の河野太郎氏、民主党近藤昭一氏他、当時94人の国会議員がいた「原発0の会」が発表した原発危険度総合ランキングで、1位だった大飯原発一号機をはじめ、関西電力の原発がワースト10のうち8機を占めました。

## 関西の経済界は原発を求めている

関西の経済団体は、ほぼ再稼働賛成です。中小企業の多い関西は、低価格の電気が必要だという理由で、原発を再稼働してほしいという人も多くいます。原発電力が本当に安いのかは疑問ですが、止めていてもお金がじゃぶじゃぶかかる原発は、稼働しないと単なるお荷物なのも事実です。



福島を経験した今、事故はありえるリスクです。  
その上で、はたして、我々関西人は原発のある未来を選ぶのか否か、どちらにしてもその主体は我々関西人です。

巻末座談会に、「そこまで言って委員会」の司会、4月から「ちちんぷいぷい」の司会の、山本浩之アナが参加。  
関西テレビ「ニュースアンカー」で、一か月間福島に住んでレポートした体験を踏まえた議論を展開しました。

原発が再稼働し、既成事実になれば、おそらく原発の議論はできなくなります。その前にぜひ、本書をお読みください。

**電話・ファクスでの注文は**

(受注センター) 西日本出版受注センター 〒564-0044 大阪府吹田市南金田1-11-11-202 発売 / 西日本出版社  
FAX: 06-6310-7057 TEL: 06-6338-3078 <http://www.jimotonohon.com/>

書店名	<b>関西電力と原発</b>	注文数(新刊委託品)
	[判型] 四六判 350P [本体価格] 1500円(予定) [著者] うずみ火編集部 矢野 宏 高橋 宏 [座談会特別ゲスト] 山本浩之 ISBN978-4-901908-86-3	
	■発売 / 西日本出版社	

〒564-0044 大阪府吹田市南金田 1-11-11-202  
FAX: 06-6310-7057 TEL: 06-6338-3078